

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月25日	作成者名	篠原 博	評価者名	久川 理恵
-----	-------------	------	------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・福祉総務課
分野	03 参加型地域福祉	関係課	
施策	18 地域福祉の推進体制づくり		
施策の目的	市民の誰もが住みなれた場所で、いきいきと暮らすことができるよう、市民が必要な時に必要とする福祉サービスを受けられるようにします。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	上戸田地域交流センター管理運営事業
取り組み②	西部福祉センター管理運営費
取り組み③	東部福祉センター管理運営費
取り組み④	新曽福祉センター管理運営費
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
福祉センター利用者数	全4館の年間利用者数 (平成28年度より3センター)	人	203,335	213,516	189,803	193,540	176,657	195,774	71,350
多世代交流のスペースの整備	多世代を対象とした居場所の確保	か所	4	1	1	1	4	4	4
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	福祉センター3館は、高齢者の生きがいの場づくりだけでなく、上戸田地域交流センターのような幅広い世代を対象とした、多世代交流型施設への転換が求められている。	対応策	福祉センター3館は、多世代にとって利用しやすく、集いやすい施設となるように、幅広い世代を対象とした事業を引き続き実施していく。 今後の施設の方向性については、社会情勢の変化や市民ニーズに対応した施設への転換を目指し、指定管理者制度の導入も視野に入れ、関係部署とともに協議を進める。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	福祉センターの利用者数は、新型コロナウイルス感染予防として閉館、利用制限を行ったため大幅に減少した。多世代交流型施設への転換に向け、多世代が集える居場所として、ロビーにテーブルとイスを配置し、多世代交流広場「わいわいスポット」を設置して整備を進めているが、交流の手法については工夫が必要なため引き続き検討をしていきたい。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	人員は、再任用職員を含め適切な職員の配置・運用を行っていく。また、各福祉センターは、老朽化に伴う維持管理費の増加への対応として、修繕等を計画的に実施していく。
→		

(評価者コメント)

福祉センターは、地域における支えあい、助け合いを進めるために、地域に暮らす幅広い世代に交流や活動の場として利用される施設となるように、指定管理者制度の導入を含めた管理運営体制や老朽化への対応策として施設改修の手法などを総合的に検討していく必要があるため、関係部署で発足された「福祉センター再編方針検討ワーキングチーム」で協議を進める。また、同時に地域福祉を推進していくための地域の拠点としての活用についても引き続き研究していく。
--

